観光関連の大学・専門学校

成長産業と見込まれる観光産業だが、有望な若者の活躍なくして発展はない。観光業の明日の人材を輩出する大学、専門学校を紹介する。

次世代のリーダーを育成
東京YMCA国際ホテル専門学校

東京YMCA国際ホテル専門学校は、創立80年を迎える日本で初めて開校したホテル専門学校だ。総支配人からサービススタッフまで、あらゆる現場のリーダーとして卒業生が活躍し、ホテル・旅館・ブライダル業界からの信頼も厚い。

「ホテル専攻科」は、1年間でホテル・旅館の経営者としてマネジメントを中心に幅広い知識、実務を学ぶ同校独自の専門学科だ。実践的な講義を通じ、将来経営に携わる者として必要な経営スキルを学ぶことができる。

少人数制で行う授業はゼミ形式。時には調査実務として、在校生や卒業生の勤務先である旅館を訪ねてサービス工程の生産性を高め、現場環境をより効率化するための改善案を議論する。

また、小グループに分かれ、一人一人アイデアを織り交ぜながら起業プロジェクトを企画立案し、事業収支・投資回収計画をシミュレーションすることで企画提案力も身につける。

生まれながらの後継者だけでなく、これらの舞台で活躍したい人たちが集い、1年間の学びを通して強靭なネットワークとしてつながる。卒業した後継者たちが度々学校を訪れて指導してくれるので、先輩たちとの交流も図れる。このように年代を超えてネットワークを築けるのも、長い歴史を持つ同校ならではの特徴だ。

先人たちが守ってきた歴史と伝統を受け継ぎ、次世代のリーダーとしての決意と責任を明確にするための自信を深める場として、この「ホテル専攻科」は存在する。

実践的マネジメントが学べる少人数ゼミ

礼節を重んずる教育
専門学校日本ホテルスクール

学校法人日本ホテル学院が運営する専門学校日本ホテルスクールの教育理念は、①礼と節を重んずる人間の育成②ホスピタリティ精神の体得と実践③理論と実技の一体化によるサービスの創造④国際的視野に立脚した人間の育成⑤広く社会に貢献する人間の育成―の五つ。卒業生はホテル・ブライダル・レストラン業界で幅広く活躍し、企業からの評価も高い。今年度も「帝国ホテル」や「アマン東京」などの内定が続々と決定している。

同校の学生は今年2月開催の「HRSサービスコンクール2015」のカレッジ部門に出場。見事に優勝し、3連覇達成の偉業を成し遂げた。このコンクールは、日本ホテル・レストランサービス技能協会が毎年開催。若手のサービスパーソンがその技能を競い合うもので、同校からは9人が本選に出場。5人の決勝進出者のうち3人が同校の学生で金、銀賞を受賞した。

同校の教育システムは、欧米のホテル学校を例とし、さらに国内の学校形態をも配慮。独自の教育体系を形成している。ホテル業界の現業部門での技能と知識を習得するために、サービスから経営までの一貫した教育を実施している。

英語教育にも力を入れている。近年の訪日外国人客の急増に伴い、「高い語学力はもちろん、コミュニケーション力に優れた人材が求められている」と同校。言葉の壁を越え世界と日本をつなぐ「おもてなし」のプロを育成するために、英語専攻科は授業全体の75%以上で英語を取り入れ、指導の多くはネイティブスピーカーによるもの。外資系ホテルの総支配人や在日海外大使による講義などユニークな特別授業も行われ、訪日外国人客に対応できる人材や、世界で活躍できるホテリエを育成する。

日本ホテルスクールの校舎

多くがJTBグループへ
JTBトラベル&ホテルカレッジ

JTBトラベル&ホテルカレッジは今年で33年目を迎えた専門学校。観光業界に広く人材を輩出している。

日本人学生の就職率は99・9%。32期生は就職希望者169人のうち160人が観光業界に就職した。そのうちの91名はJTBグループへ入社した。32年間で2631人がJTBグループへ入社している。また、1年生の「総合旅行業務取扱管理者資格」の合格率は37・4%と全国平均の2・3倍。1年生の合格者数は64人で、全国の専門学校生合格者161人の約4割に当たる。

コースは昼間部と夜間部に分かれている。昼間部には、主に旅行業界を目指す「国際観光ビジネス科」、ホテル・ブライダル業界を目指す「国際ホテル科」、留学生を対象とした「国際観光ビジネス訪日科」を設置。夜間部には、JTBグループの旅行関連部門やホテルで昼間働きながら夜に通学する「国際観光ビジネスデュアル科」と、大学や短大とのダブルスクールが可能な「国際観光ビジネス科」がある。

福永主任講師

開設12年目を迎えた国際観光ビジネス訪日科の学生は2学年合計で76人全員が海外からの留学生。中国、台湾、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、ウズベキスタン、ロシアなどアジアを中心に各国から来ている。

同科の福永里美主任講師は「在学生の8割以上は卒業後、日本で観光関係の仕事に就くことを希望している」と話す。帰国して旅行会社やホテルで日本人観光客に応対する仕事に就くケースも多い。

「授業では、日本のビジネスマナー、社会常識、敬語、おもてなしの心なども教える。また20年の東京五輪が学生のモチベーションアップにつながっている」（同講師）。急増する訪日外国人旅行客受け入れに最適の人材を育成している。

現場をよく知る講師
立教大学

立教大学の観光教育は1946年開設の公開講座「ホテル講座」に始まる。1998年、30年余りの歴史を持つ「社会学部観光学科」を改組発展させ、日本初の「観光学部」を開設。同時に、我が国では数少ない「博士（観光学）」を授与することのできる大学院「観光学研究科」を設置した。

観光学部は現在、「観光学科」「交流文化学科」の2学科体制で、「ビジネスとしての観光」「地域社会における観光（観光地計画）」「文化現象としての観光」の三つのプログラム群を設け、多様化した観光の全体像を探る。

一流の観光関連企業の実務家など〝現場をよく知る講師〟による授業も特徴的だ。時代に必要とされる「観光の頭脳づくり」を目指し、2学科が両輪となり補完しあうことで、バランスの取れた新しい観光教育を実現できる、と同大学は考えている。

その他、海外提携大学との交流プログラムの実施や、観光学部独自の国際ネットワークを生かし、海外から一流の学者を招いて授業や講演会を行うなど、日常的に国際的な空気に触れることができる。また、自由選抜入試では、昨年度から「観光関連産業の後継者」の出願資格を新たに設けた。

なお、「ホテル講座」は2001年から「ホスピタリティ・マネジメント講座」と改称し、約3カ月で35回の講座を開講。外食産業の経営システム、外資系ホテルの動向と経営戦略、旅館経営の課題など、宿泊・外食産業の理論と経営、最新動向を紹介している。その他、「総合・国内旅行業務取扱管理者試験」のための準備講座「旅行業講座」も開講している。

また、同大学では、社会人対象（昼夜開講）のMBA型大学院「ビジネスデザイン研究科」も設置している。

立教大学の新座キャンパス

「観光立国」を創造する
北海道大学大学院

北海道大学（札幌市）は2006年4月に設置した観光学高等研究センター（通称「CATS」、西山徳明センター長）を母体に、07年4月に国立大初の大学院観光創造専攻（国際広報メディア・観光学院）を開設。これまで7期107人の修士課程修了者と6人の博士号取得者を輩出した。

修士課程では、「価値共創」「地域協働」「国際貢献」の三つの専門能力の育成を掲げ、「国内外の地域で観光を創造できる人材」を養成、博士課程では、この観光創造を通じて社会にイノベーションを引き起こす新たな実践研究者を養成している。

キャンパスは北海道の豊かな自然と都市的利便性に恵まれ、学生たちは闊達自在に観光創造研究に取り組む。

特に社会人の学び直しに魅力的なカリキュラムやフィールド科目、働きながら履修可能な夜間・週末開講など、学びたい誰にとっても理想的な学習・研究環境が用意されている。

研究テーマもエコツーリズムや遺産マネジメント研究、先端的なDMO（観光目的地マネジメント組織）研究やアニメ聖地巡礼で注目されるコンテンツ・ツーリズムを始め、北米、欧州、中国の観光文化論や国際言語コミュニケーション研究まで、従来の観光研究の概念を超えた多岐にわたる研究を展開している。

現在CATSは、これら研究成果の実践として、JR東日本やJR北海道からの寄付講座や、札幌市、美瑛町、白川村などの道内外自治体等との包括連携に基づき、地域課題の実地における解決（コンサルティング）にも取り組んでいる。さらに11年度からは、JICA（国際協力機関）のODAプロジェクトを受託し、エチオピア、ヨルダン、ペルー、フィジー、ジンバブエ等で観光開発国際協力分野の技術移転も実施している。

CATSは今年、日本の大学として初めての国連世界観光機構（UNWTO）加盟が決まっている（二つの他大学と同時加盟）。

国際協力の実習風景（ペルー・アマゾネス州で）

東京YMCA国際ホテル専門学校
TOKYO YMCA COLLEGE OF HOTEL MANAGEMENT
『1年間で将来を担う ホテル・旅館後継者を育成！』

＊＊＊ホテル専攻科＊＊＊
大学、短大、専門学校卒業（見込）者
または高卒後2年以上の実務経験者
○一年間で就職を目指す
幅広い知識・実務・マネジメントを学ぶ
○ホテル・旅館の後継者育成
後継者に将来必要な経営スキルを養う
○少人数制授業
少人数だからできるきめ細やかな授業
※基礎から実践的に学ぶ
2年制の「ホテル科」もございます。
TEL 03-3202-7480
ihs-info@tokyo.ymca.or.jp
2016年度4月入学者 願書受付期間　（3月まで入学試験を実施しています）
＜推薦出願受付期間：2015年10月1日(木)～2016年3月16日(水)＞
＜一般出願受付期間：2015年11月2日(月)～2016年3月16日(水)＞
個別の学校見学は随時受付中！月～土曜日、10:00～17:00
YMCAホテル学校　検索
http://hotel.ymsch.jp
〒169-0051東京都新宿区西早稲田2-18-12

学校法人日本ホテル学院
専門学校 日本ホテルスクール
ホテル・ブライダル関連業界の未来を担う人材を育成
設置学科
国際ホテル学科（修業年限2年制）
●ホテル科　昼間部 夜間部　●英語専攻科　昼間部
●ブライダル科　昼間部 夜間部
国際ホテルマネジメント専科　夜間部
カナダ・オーストラリア留学制度あり

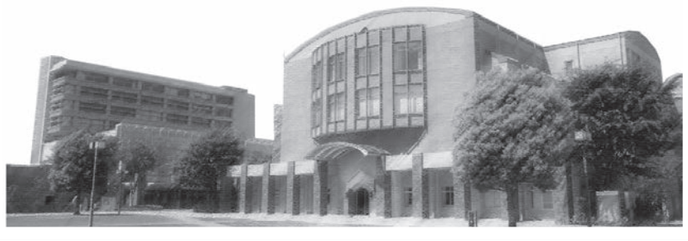
企業の皆様　☎03-3360-8231　mail:kyujin@jhs.ac.jp
〒164-0003 東京都中野区東中野3-15-14
日本ホテルスクール　検索
推薦・支援団体
・一般財団法人日本ホテル教育センター　・一般社団法人日本ホテル協会　・海外ホテル協会　・一般社団法人日本旅館協会
・公益社団法人日本ブライダル文化振興協会　・一般社団法人日本フードサービス協会　・一般社団法人国際観光日本レストラン協会
・一般社団法人全日本シティホテル連盟

大学にはない学びで夢をつかむ
就職先のほとんどは本校での学びと
直結した「旅行・ホテル・観光業界」へ

学校法人 国際文化アカデミー
JTBトラベル&ホテルカレッジ
感動のそばに、いつも。
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-2-12
TEL.03-3910-5551㈹　FAX.03-3910-5152
●お問い合わせ時間　9:15～17:45（土日祝を除く）
昼間部
国際観光ビジネス科
国際ホテル科　●ホテル総合コース　●ブライダルコース
国際観光ビジネス訪日科（留学生対象学科）
夜間部
国際観光ビジネス科　●観光総合コース　●ホテルコース
国際観光ビジネスデュアル科　●観光総合コース　●ホテルコース
0120 FreeDial 0120-187-283
ホームページ http://www.jtb-college.ac.jp
【携帯電話】http://www.jtb-college.ac.jp/i　【Eメール】jtc@jtb-college.ac.jp

北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY
大学院 国際広報メディア・観光学院 観光創造専攻
「価値共創」、「地域協働」、「国際貢献」の3つの専門的能力を育成し「地域で観光を創造する」人材を養成する
あなたの得意分野と教員陣の多様な専門分野を化学反応させ、地域の観光をおもしろく創造してみませんか？

・前期募集をご検討の方
◇願書の提出締切　→2015年7月27日（月）
※まだ間に合います！
・後期募集をご検討の方
◎入試説明会 札幌会場　→2015年11月7日（土）
東京会場　→2015年11月14日（土）
◇願書の提出締切　→2015年12月22日（火）
●国立大学初の観光系大学院でキャリアアップを実現！
全国から広く大学院生を募集しています。
●国内外のフィールドで展開する多様なツーリズム研究。
大学卒の方であればどんな専門分野からでも受験可能！
●社会人にも魅力的な夜間、週末開講カリキュラム。
在学院生の約30%が社会人経験者です！
資料請求
〒060-0817 札幌市北区北17条西8丁目
北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 事務部 教務担当
TEL：011-706-5116 FAX：011-706-7801
http://www.imc.hokudai.ac.jp/imcts/tourism/

フィールドを世界に拡げ、リアリティに満ちた学びの場を提供する
「オンリーワン」の観光教育
観光学部 観光学科、交流文化学科
観光学部は、1946年に設置された「ホテル講座」を源流とする立教の観光教育を受け継ぐ学部。観光産業の経営と地域活性化の2つの視点から観光を探求する観光学科、観光のもつ交流的側面に注目する交流文化学科の2学科で構成されています。
※入試情報などについては、立教大学ホームページをご覧ください。
観光学研究科 観光学専攻
・教育指導分野：「観光行動・観光文化研究」
「観光地域・観光地計画研究」「観光産業・観光事業経営研究」
ビジネスデザイン研究科
・2年以上の実務経験をもつ、社会人対象の大学院(MBA)
・都市空間デザイン、観光地域政策論などの科目を展開
※各研究科の入試は秋季・春季の2回実施します。
大学院の入試要項は立教大学ホームページからダウンロードしてください。

立教大学
www.rikkyo.ac.jp
新座キャンパス　〒352-8558 埼玉県新座市北野1-2-26
■問合せ先　入学センター 03-3985-2660
〒171-8501　東京都豊島区西池袋3-34-1